いわき民報
社報　いわき民報社
発行所　平市田町四番地
電話　一八三番
一部金七十銭
但し一箇月前金一円廿銭
毎日夕刊
印刷人　斎藤千代
発行人　斎藤千代
昭和二十三年二月八日　日曜日

新制高校配置案成る

定時制も縣立同様の資格要望

石城教育審議會

四月から新設足る新制高等學校市郡下における配置案は九日の石城地區教育審議會で決定、七日縣教育委員會に提出された、全日制は縣立で時制は縣立でないので、そこから生れる問題等を考慮して決定、二部授業は認めない、定時制は縣立同様の資格を要望した

▲全日制高校
◇平市　磐城中學、磐城高女、平工業、平商業へ
◇小名濱方部　小名濱高女へ
◇湯本方部　湯本高女へ併設
◇磐城農學校へ
▲定時制學校
◇平市　平工業はか一ヶ所に併設
◇湯本方部　湯本高女へ併設（湯本、磐崎、遠野、上遠野、入遠野五ヶ町村）
◇小名濱方部　小名濱商業校へ（小名濱、錦、江名、泉四ヶ町村）
◇磐出方部　磐出高女へ（磐出、錦、勿來、川部、山田、田人六ヶ町村）
◇神谷方部　神谷農事試驗場へ（神谷、夏井、簡八、草野、赤井、飯野、上小川、下小川、豊間、永戸、渡邊、川前十一ヶ町村）
◇四倉方部　四倉實業學校へ（四倉、大野、大浦、双葉、久ノ浜、大久五ヶ町村）
◇内郷方部　内郷商業學校へ（内郷、綴、好間、綴、三ヶ町村）
▲定時制分校
◇湯本方部　上遠野青年學校へ
◇神谷方部　小川、水戸、簡八、豊間四ヶ町村へ
◇四倉方部　久ノ浜、大野、両町村へ

なおこの方部區域は通學上の便を主体としたもので、學區制度でないから入學希望のところへ各自の看望で入學が許されることになっている

學年別ない　定時制

新制高校の定時制は單位制をとり學年別はなく、授業十五時間を一單位とする八十五單位を全部終了すれば卒業することになっている

早くも悲觀される　肥料リンクも効果は薄いぞ

四日以來市の肥料リンクが始り野菜不足の折柄期待されていたが、意にネギの少量だけでは大して成果が擧がっていない市ではこの少量のネギの入荷をもつて今後の出廻を期待、合業者一戸に五百匁宛を割當されたい旨申入れたが、相變らずの少量では制限量をもつても焼石に水だと業者も極めて悲觀的、かくて野菜不足もなか〳〵解消されうもないだとべ肥料のリンクを實施しても平市の割當だけでは農村地の一人五十匁の割で計算しても僅か五十圓の野菜分しかリンク量がなく、市側で指摘した破綻との差額あり實公定を基準として算出してあるので荷受機關では要に到底定をもつて計算すれば價格も下廻り出荷意欲は減退することは當然でこのリンク制を廃化するとしてもリンク制の即當追加を圖らぬ限り永續性がなく野菜不足も一十解決困難だと早くも關係方面から悲觀的な意見が出ている

磐城文協では紀元節の十一日は丁度日曜にあたるので本社の後援で午後六時から本社ホールにラジオで劇衆の「話の泉」いまでは「二十のトビラ」と稱して人氣を呼んでいる催しを一ら、問題及び回答者の顔觸は一般希望に依つて決定するので、希望者は回答者を指せるような雜問をお寄回答者の氏名とともに封書で平市字柳小路文協事務所かは本社宛に寄せられたい、回答者が回答し得なかつた問題提出者には特に賞品も出すことになっているばかりか地方で初の催しなので早くも非常な人氣を呼んでいる、なお回答者の氏名は九日ころまでに決定發表の豫定

今曉小名濱の火事

八戸七棟全燒二戸半燒

七日午前零時半頃小名濱町竹ノ町材木商鈴木松藏さん（四七）二戸一棟に非住宅一棟（二十四坪）を全燒した損害約二萬八千円、原因は煙突の飛火の（方付近から發火、たちまち隣家に延燒、八戸七棟（百六十五坪）を全燒、二戸一棟（三十五坪）を半燒、全燒半燒は同家屋内に居住する

◇全燒　國井ナヲ（六〇）市魚商小林十三（三一）大工ひ田政一（四九）會社員那太郎（四一）農業大谷上春吉（三五）全吉田武雄（三四）
◇半燒　材木商鈴木松藏（四〇）

赤井の火災

八日午前十一時半頃赤井村大千赤井字宮作無職船月すさ（八一）方から發火、隣家の無職笹タノさん（六一）方付近から發火、たちまち隣家に延燒、二戸一棟（三十五坪）を全燒、全時半頃原因調査中、罹災者は左の通り

◇全燒　國井ナヲ（六〇）市魚商小林十三（三一）大工ひ田政一（四九）會社員那太郎（四一）農業大谷上春吉（三五）全吉田武雄（三四）
◇半燒　材木商鈴木松藏（四〇）

足袋クツ下　第三回配給

市では第三回足袋、靴下の配給を八日から從來通りの方法で實施する

罹災者に　毛布配給

二市では六日市内わ宜町の火災で不幸を燒いた千葉正良さん（二二）外五世帶に對し全一毛布を二人以下は一枚四人以上は一枚の割で配給した

石炭復興會議再會

本社ホールで東部準備委員會

石炭復興會議再開東部準備委員會は十二日午前十時から本社ホールに開き、勞資代表各二十名ずつが出席、再開具体案について審議、懇談する、なお復興會議は昨年九月の全國委員會で勞働者側委員の擔場で中止していたところ、今十一月八日日本炭鑛勞組同盟から強力な石炭增産の總開として再會が要求されたので、勞働者側は經營者の經營總を、一方經營者側は勞働者側の團結機關體交渉機能を確保、双方對等の立場で增産對策、特に中央交渉の經過報告等を行つた

炭勞支部の擴大委員會

地方支部擴大委員會は七日午前十時から本社ホールに開き、勞働運動及び同答者の顔觸は一般希望に依つて決定するので、希望者は回答者を指せるような雜問をお寄回答者の氏名とともに封書で平市字柳小路文協事務所かは本社宛に寄せられたい、回答者が回答し得なかつた問題提出者には特

節分に　舊正二日を　會の扉の十二

後援　後藤本社　協主催　文協

福引券付大賣出し

化粧品の外
全商品一割引致します

ブローチ・ロケット・ペンダント・ヒヤハンドバック・リボン・クシ・造花ル雜品セット・財布・鏡・ほか各部
高級化粧品豊富に有ります

平市銀座通り　メイ化粧品店

内科　小兒科　外科　若松醫院

醫學博士　若松信吾
小野彌久

（入院室完備）　平市大町一三　電五〇五番

御挨拶

此度マルヘイ商店と改名仕候間從來通り御引立の程をお願い申しあげます　店主

常磐物産商店改め　マルヘイ商店

平市田町郵便局電二四

醫藥家庭金物、建築金物、品目電氣器具

いわき寸言

◇たうもろこの雌雄を見に片山内閣を危機に追い込む、病は身上りをはこのこと◇鐵道や郵便料の値上げは追加豫算編成でやゝ延期となるが、悲しいこと二日でゝ延びろか

福島縣古俳壇

選者　石太郎

六、會津俳壇

會津の俳諧は大淀三峰風から始まる。三峰は伊勢の俳人で日本全國を行脚した。之は日本行脚又發となつている。我が福島縣には須賀川を北上して相馬から福島に入り更下して一本松から會津に行つて俳諧の盛衰を傳播し、會津地方の俳壇に主つている。その間上地の俳人と交はつて

炭坑青年部　結成準備

九日午前十時から常磐炭礦湯本支部に開かれる炭礦青年部結成第二回準備委員會には各職場から二名（互選）出席するが代表者左の通り

◎日鐵（山出）○炭運（山出）菊田三夫　大井川嘉久雄（常磐）中立一章（古河）飛田恩藏（入遠重吉）

お全國青年部は中央の線に副つて決議機關として暫定的に相互の自主性を認めることとしている

待望の木炭　近く配給

中、富岡各營林署の好意で九十俵が、市には磐城日刊木炭として他、富岡各營林署管内から二千俵前九十俵の入荷を待て配給することになつた、なほ澤山營林署では現在關東に積置中の九俵（東京向）木炭萬二千俵のうち當地方で不足に潤む市民へ（特に二十俵位贈つても良い）窓口のこと營林署では市地區林配及び市當局へ近くこの好意を傳えることになつた

祭も　こども城石

こども新聞社主催、本社その他後援の初の石城こども祭は八日午前九時から營女講堂に開く、花柳舞踊團、

報奬用　障子紙配給

銅賀販売氏指導の、原野お百さん曾及び石城保護會の可愛いお友達の特別出演もあり、午前中は子供達のために、午後は一般父兄遊覽開放されるので非常な盛況ぶりを早くも期待されている

昭和二十二年度米穀奬用と

成結も　クラブ　藝術

臨時二等　周野佐

鹽川保夫、井明君等の發起、鈴木傳閑氏を會長に藝術クラブが結成され、九日午後六時から市公會堂で日本國に結成式をあげる、當夜は特に「嘆の男」一ロケで當本町に宿泊中の佐々木監督、小川プロデューサ、吉野龍一、山口勇、遠藤榮三井秀雄、小澤田正二等の映畫關係者も出席するの式後これらの映畫人を囲んでの懇談會も開くほか花柳舞踊會員の祝賀演藝等もある筈である、全クラブはあらゆる藝術を通じて文化向上をはかるとともに相互の親睦を期する目的で、この目的達成のために映畫、美術、音樂、和洋舞踊、文藝、華道等々の總ゆる藝術に跨く、たゞ映畫はAMPクとの關係上當分の間映畫人を網羅することにもなつた

會議獲得に　猛運動

磐城觀光協會が

昨年十月都下各町村關係者を以つて結成した磐城觀光協會では、その後資金關係で大した活動も出來なかつたので中旬ごろから町村側へ呼掛け會員獲得運動を強力に展すことになつた

現在同協會で計畫中の觀光事業は川前村の紅葉の各所へ旅館を設置し新道を經て立公園とする一方觀光道路の新設、目下進行中の平市

早速記者が市水源調に御園期

防火功勞で　表彰さる

不動産業の吉田三次さん

鹽町白水字目鹽内平市活動寫眞館從業員吉田三次さん（三八）は今度本田平警察署から防火功勞者として金一封を與へ表彰されることになつた、吉田さんは去月二十日正午頃市内南町附近を通行中、王町精肉店の燃えさかる火勢に大驚にもらんとしているのを發見、隣家に急をつげ協力して消火したもの

石城地區の　食調委員會

石城地區食糧調査委員會は二日午前十時から地方事務所に於き重要物資の取扱、家庭家家の調査に就き協議

葉タバコで

出村部に鄉村鹽佐藤一夫は（二二）葉タバコ二貫五百匁を久川前村百物商組本組合（二八）には全一百匁を贈與して去る三日選んで來たところ感謝で狗われた

火の用心

近頃の農村から平市へ勤めに出ている娘さんと市内の事務員娘との會話―「やの人が訪ぬけようね」「どうして？」「最近煙突掃除で隣近方面がやかましくなり煤煙の晒粉を煙道に撒き入れるそうじやありませんか」「アラそうなの」（むきになつて）そうよ「私だつて井戸の塩水でなく晒粉水で洗濯をすればきつと垢ぬけするわよ」「？？」

◇

昭和二十二年度米穀奬用と

相馬領に入り、野馬追をみ、中村に行き三浦由之の許まり、松川入江の景を賞し、川俣に行つて、福花縣の許に滯在した。

相馬の俳人としては二浦由之　同藤蔭庵　武久、鶴師二等　追

◇

以上で福島縣の元祿期の俳壇の概觀である、が、尚藩が例の藩の鎖國の行關の際中通行をとおつたことは、研究家の注目する事である

とであるが、玄札の外分つていない。

玄札は勢州山田の人、寶永年中江戸に出て醫者となつたが後俳道に身を投じ俳諧師として立つた。會津藩士保科正之公に招聘を請て五人扶持を賜はつた。

元祿二年十二月十四日沒、年八十二才

七、相馬俳壇

相馬にもさして俳人がおらなかつたが全體の俳諧は大淀三峰から始まる。二千圓は貞享二年八月、中から北上して

内に國から石森山（ホヌすス）觀光道路の促進等が擧げられている

街の話題を奪つた　二丁目商店會の　サービス

特賞一〇〇〇大當りの空籤なし

期日　舊正二日、三日の二日間

☆百円お買上毎に一本引けます（參加店はポスター掲示あり）

二丁目商店會

舊正　福引大賣出し

福引景品附大賣出し

舊正月元日ヨリ三日間

參加店　商店會員

お買物は　銀座街へ

◇參加店◇

小野新舖　いづみや　染物　紋
てがる　商店　森商會　新聞　販賣
スガタ　呉服店　誠光堂　吉田照物店
梁塵　商店　ハシモト糸店　マルベイ商店
岡製　藥局　メイル靴店
松月堂　金子屋　阿部藥舖
サロン　王ず　百川印房
會館　三井分店　小西食品店
白十屋食料店　ヤマヤ糸店

舊正月三日間元旦より

福引景品附大賣出し

大當り一等　一千圓（空クジなし）

特に明朗中時計　眼鏡　ライター　他全商品

◇大特價奉仕◇

サービスの街　銀座街

誠光堂支店驛前

◆銀座街商店も參加にて

總計　メガネ　ライター　ラジオ　レコードの店として『年來年始』

◇大特價奉仕◇

どうぞ御來店を御待ち致して居ります